

2024.11.1発行

伊豆市【No.82】

議会だより

土肥 交流会

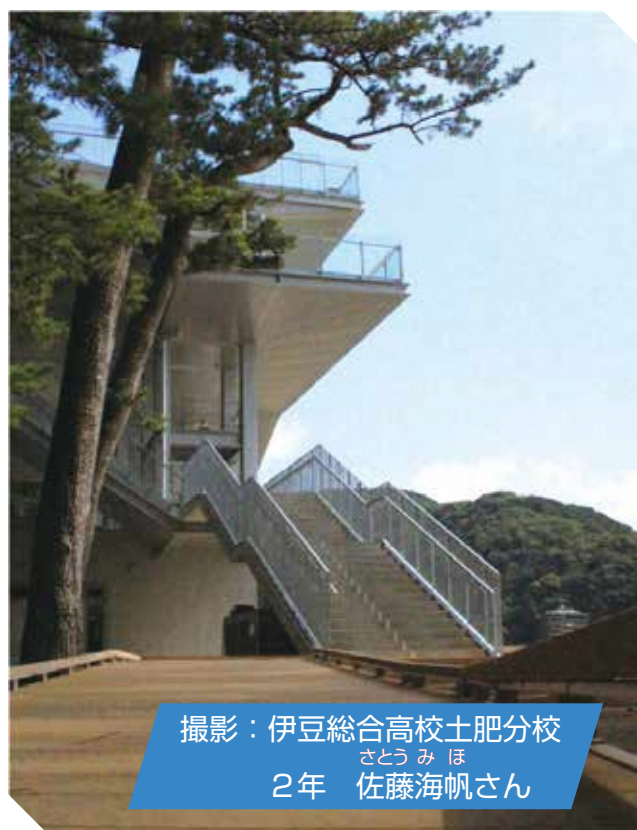
伊豆総合高校 本校写真部、土肥分校商業部写真班の皆様と



本号の
ポイント!

撮影：伊豆総合高校
なかのゆうな
2年 中野結菜さん

- ・令和5年度決算審査 p4
- ・広報委員会交流会(土肥)
- ・中学生議会



撮影：伊豆総合高校土肥分校
さとう みほ
2年 佐藤海帆さん

議案一覧『議会は可決・認定・同意』

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について ・市有財産の管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定 【2件】 ・伊豆市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正 令和5年度伊豆市健全化判断比率の報告について 令和5年度伊豆市資金不足比率の報告について
決算	令和5年度伊豆市決算 ○一般会計歳入歳出決算の認定について ○各事業会計余剰金の処分及び決算の認定について ・水道事業（剰余金の処分なし）・温泉事業（剰余金の処分なし）・下水道事業 ○各特別会計歳入歳出決算の認定について ・公共用地取得事業・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・7財産区
予算	令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）
	令和6年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）
	令和6年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）
	令和6年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第1回）
条例	伊豆市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
	伊豆市副市長定数条例の一部改正について
	伊豆市国民健康保険条例の一部改正について
その他	工事請負契約の変更について（新中学校、（仮）日向公園管理棟） 【2件】
	住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止について
	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について
発議	伊豆市議会委員会条例の一部改正について
	伊豆市議会議員政治倫理条例の一部改正について
	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
	地震財特法の延長に関する意見書

賛否が分かれた議案	小川 多美子	浅田 藤二	鈴木 優治	飯田 大	黒須 淳美	下山 祥二	杉山 武司	星谷 和馬	鈴木 正人	間野 みどり	波多野 靖明	小長谷 順二	三田 忠男	永岡 康司	杉山 誠	議決 結果
伊豆市副市長定数条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	可決
令和5年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	認定
伊豆市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
伊豆市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
伊豆市議会議員政治倫理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

※議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※討論は p. 8 に一部掲載

令和6年伊豆市議会

8月臨時会

会 期：令和6年8月2日（金）

「一般会計補正予算（第4回）」 「財産の取得」
6/18 豪雨災害の対応 伊豆中学校施設備品
補正額 【1億4,720万円】 取得額 【4,939万円】



伊豆中学校完成イメージ

9月定例会

会 期：令和6年8月29日（木）～9月25日（水）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
8/26	27	28	29 本会議初日 全員協議会 議会広報委員会	30 全員協議会	31	9/1
2 本会議2日目 （一般質問）	3 本会議3日目 （一般質問）	4 本会議4日目 （一般質問）	5 議会運営委員会 本会議5日目 （議案質疑）	6	7	8
9 連合審査 （総務経済委 員会所管分）	10 連合審査 （教育厚生委 員会所管分）	11 総務経済 委員会	12 教育厚生 委員会	13	14	15
16	17	18	19	20 議会運営委員	21	22
23	24	25 本会議最終日 議会広報委員会	26	27	28	29



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載▶



要チェック議案



- ・議案第63号～77号 令和5年度各会計決算の認定
- ・議案第78号 令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）
- ・議案第84号 伊豆市副市長定数条例の一部改正

令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）

詳 細

※1万円以下は切り捨て

衛生費：保健衛生総務費 他 【3億3,186万円】
（市内公的病院等補助金）

災害復旧費：道路橋梁災害復旧費 他 【1億3,291万円】
（豪雨災害に係る道路橋梁災害復旧工事 他）

諸支出金：基金費 【3億4,146万円】
（前年度決算剰余金に係る財政調整基金積立金の増）



9/9・10

連合審査



Q 令和5年度に実施された婚活イベントで、特に手ごたえを感じたイベントがあったか。

A 「大人の婚活イベント」は、アウトドア型のイベントであり、伊豆市ならではの自然をいかした特徴的なイベントでした。「縁結びパーティー」は中伊豆ワイナリーヒルズで開催され、10組のカップルが成立するなど、成功したイベントです。

質疑

(総務経済委員会所管)

Q 来庁者からのカスタマーハラスメントに関する対応の事例は、把握しているか。

A 具体的な数は把握していませんが、相談を受けています。過度なハラスメントを確認した場合は、必要に応じて警察を呼び対応はしています。

Q 伊豆市創業等支援事業補助金の実績内訳は。また、最大支援額は。

A 修善寺地区で5件、土肥地区で3件ありました。業種は、飲食店、宿泊業、整体・マッサージ、会計事務やウェブ関連事務処理、ネイチャーガイドです。

補助額は、創業にかかる経費に対して最大50万円の補助があり、家賃補助は1年間で最大60万円が支給されるため、合計最大110万円です。



キオスク端末
※本庁入り口付近に設置

Q 個人番号制度事業のキオスク端末の利用状況と、コンビニ交付へのつながりは。

A 来庁者がマイナンバーカードを持参している場合で、取得可能なものがある場合はキオスク端末を案内し、操作補助も行っています。令和5年8月は、50歳以上のコンビニ利用率が57%で、同年4月に比べ10%ほど増えています。

質疑

(教育厚生委員会所管)

Q キャッシュレス決済の利用状況は。

A 令和5年4月から開始し、利用率としては15・9%がキャッシュレス決済を使用しています。

Q 民生委員活動事業について、民生委員の確保状況や困難事例の有無は。

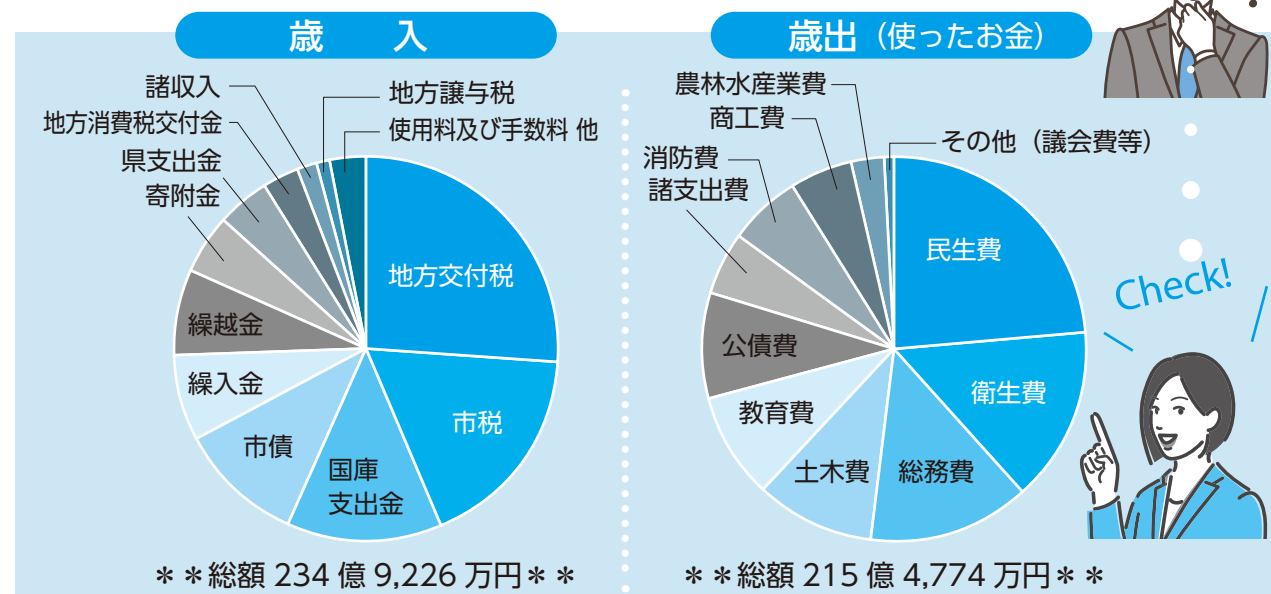
A 民生委員の定員は、110名ですが、4地区に欠員があるため、現在活動している民生委員は106名です。

地域の連携の形が徐々に成り立ちつつあるため、民生委員がひとりでは負担になっているケースはなく、地域包括支援センターや相談センターと共に、解決に向けてうまく回り始めています。

令和5年度決算 税金の使いみちをチェック

何に使われた？

*** 一般会計歳入歳出額 ***



令和5年の主要事業 (一部紹介)



《(仮称)日向公園》
建設現場

・(仮称)日向公園整備事業
(1億5,353万円)
土木費総額(20億9,377万円)



テラス オレンジ トイ

・松原公園津波避難複合施設整備事業
(3億6,016万円)
消防費総額(13億3,419万円)



伊豆中学校建設現場

・新中学校整備事業
(5億3,167万円)
教育費総額(18億8,787万円)

令和5年度各会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
一般会計	234 億 9,226 万円	215 億 4,774 万円
特別会計		
公共用地取得事業	71 万円	71 万円
国民健康保険	38 億 9,405 万円	38 億 5,039 万円
後期高齢者医療	5 億 3,065 万円	5 億 1,530 万円
介護保険	39 億 8,769 万円	37 億 7,596 万円
水道事業	6 億 2,508 万円	6 億 4,237 万円
温泉事業	7,054 万円	9,216 万円
下水道事業	14 億 8,671 万円	12 億 4,520 万円
財産区 (7財産区)	3,851 万円	1,744 万円
総合計	341 億 2,620 万円	316 億 8,727 万円

※万円未満を四捨五入しています。

※水道事業・温泉事業の不足額は、補填されています。

基金とは？

市の預貯金のことです。将来にわたり安定した事業展開を行えるよう、積み立てています。



令和5年度伊豆市基金総額

一般会計のみ (19基金)

○積立額 …… 15 億 3,633 万円
○取崩額 …… 16 億 9,970 万円
○年度末現在高 …… 99 億 4,125 万円



9/5、9/11・12

○ 議案質疑 ○ 常任委員会



議案質疑

◆令和5年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定

質疑

Q プレミアム付き商品券（いずっち券）の発行における事業の総括と評価は。

A 2回の事業を実施し、2億5000万円以上の経済効果があつたと認識しており、市民生活の支援及び市内経済の活性化の一助につながつたと考えています。

ただ、1回目2次販売の際、商品券販売店に長蛇の列ができ、交通渋滞等が発生させる事態となつたことで、皆様に混乱と多大なご迷惑をおかけしましたことを深く反省しています。



いずっち券

◆伊豆市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

質疑

Q 議案提出の環境変化の背景は。

A 令和6年6月定例会で、令和6年11月からの議員定数が16人から14人に改正され、令和5年度特別職報酬等審議会の「総額が現行議員報酬の予算額を超えない範囲での改定であれば適当と認める。」との答申に基づき、上程するに至りました。

質疑

Q 金額について、他市町との比較等、どのような根拠に基づく提案か。

A 合併当初に議員報酬額を決定した考え方に基つき、行政規模が近い近隣自治体を参考に、議長の報酬額を決定しました。副議長・各委員長・議員については、対議長比率により、予算を超えない範囲で、決定しました。

◆伊豆市副市長定数条例の一部改正

質疑

Q 副市長2人にした時の、メリット・デメリットは。

A メリットとしては、想定している人材であれば、伊豆市の自然災害リスクへの対応や、観光庁との円滑な総合調整が行える人物に業務を担っていただける点です。デメリットは、人件費の増になるかと思いますが、市内の安全強化に対する費用対効果を、数字として算出できるものではなく、市民の安全を確保する可能性を可能な限り高めることに尽きると考えています。

Q 増員される副市長の人件費予算はどの程度必要か。

A 給料及び期末手当、共済等負担金、退職手当負担金などを含めまして、年額1570万円ほどです。



総務経済委員会

◆令和5年度伊豆市温泉事業会計決算の認定

質疑

Q 土肥温泉事業で、民営化に向けての令和5年度の動き、取り組みは。

A 令和3年度の基本構想から始まり、**デューデリジェンス**と事業支援の推進を行い、土肥温泉事業の資産を各観点から評価し、民間事業者との対話に備えて準備を進めました。また、利用者向けの説明会を開催し、市が民間への移行を検討していることを説明しました。

※デューデリジェンス…投資対象の価値やリスクを調査する活動

◆令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）

質疑

Q 災害対策費の感震ブレーカー設置事業費補助金の補助率と補助額の上限は。

A 補助率は2つに分かれ、一般

世帯の場合は対象経費の3分の2以内で上限3万円、65歳以上の方のみ世帯は対象経費の4分の3以内で上限5万円です。



感震ブレーカー

◆伊豆市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

質疑

Q 報酬審議会からの答申を受け、11月1日からの施行とのことだが、予算への影響がない範囲内で実施されるという理解でよろしいか。また、年金を受給している議員と若い議員で報酬に差をつける検討はしたのか。

A 予算内で対応できるようになっています。報酬の差は報酬審議会でご話になりましたが、具体的な計算は行っていません。今後、定期的に報酬審議会でご議論していく必要があると考えます。

教育厚生委員会

◆令和5年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

質疑

Q 医療給付費と被保険者数の関係、健診受診による医療費抑制の効果は。

A 人口減少に伴い、被保険者数は減少傾向ですが、医療給付費はほぼ横ばいの状態です。高額療養費は、支給数自体は減っていますが、市の負担額は増え、一人当たりの医療費も増加傾向です。

健診の受診率に大きな変化は無く、医療費の低減につながっているかの細かな分析はできていません。

◆伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

質疑

Q 介護保険の認定者数はどのような傾向で推移しているのか。

A 令和5年度の認定者数は、前年度に比べ微減でした。理由とし

◆工事請負契約の変更（伊豆中学校）

質疑

Q 新中学校開連の総事業費はいくらになるのか。

A 消費税などすべて込みで、約71億円弱です。



伊豆中学校 建設現場



討論

◆令和5年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定

反対討論

◆杉山 武司 議員

本議案には、令和5年度議案第68号の旧天城湯ヶ島支所の減額譲渡額（1100万円）が収入として計上されています。賛成すると減額譲渡に反対したことで矛盾が生じ、違法と思われる行為を認めることとなります。法的に責任を問われる恐れのある議案に、賛成することはできません。

賛成討論

◆浅田 藤二 議員

変化が激しく先が予想できない不確実性の高い時代に生きる私たちは、物事の真実を見極めると同時に、このまちに暮らす人々の幸せに繋がる判断をしなければなりません。危機管理体制の充実促進、子どもが健やかに学び育つ教育環境の整備など、第二次総合計画に基づき、将来を見据えた持続可能な市政運営が進められているため賛成します。

最終日の討論は、2議案に対し5件（反対3賛成2）ありました。詳細は9月25日の録画配信をご覧ください。

一般質問

質問 Question

人口減少に負けないまちづくりを



すぎやま まこと
杉山 誠 議員

国立社会保障・人口問題研究所が昨年公表した伊豆市の将来人口は、2040年に1万8265人、2050年は1万4014人へと大きく減少することが推計されています。

人口減少社会の中で行政機能を維持するための具体策をどのように考えますか。また、児童生徒の数が減少する中で学校教育をいかに進めますか。

答 弁

人口減少の流れは予想を上回るペースで進みつつあります。当市だけでなく、全国的に人口減少は進んでおり、人口減少を抑制することは困難で、人口が減っても持続可能なまちづくりを今まで以上に進めることが必要と考えます。

人口減少社会に対応する施策として、「中心市街地への都市機能の集約」や「適正な宅地化の誘導」があり、新中学校の建設、（仮称）日向公園の整備等を進めている状況です。

旧町単位の小学校は可能な限り存続させることを前提に、地域全体で子どもたちを育む体制を整えます。



動画はこちら

質問 Question

伊豆市の諸問題の現状とその解決



しもやま しよじ
下山 祥二 議員

2期8年の間に質問した内容について、その後の現状などを次の8点に絞り追跡質問します。①インフラ整備②公共施設の再配置計画③森林整備現状④平和寺環境汚染問題⑤広域連携の必要性⑥移住定住施策の効果⑦伊豆中央道の料金徴収延長後の現状⑧大型事業後の伊豆市のまちづくり

答 弁

①要望活動の推進と交付金を活用した歩道整備などを行っています。②施設の廃止など着実に推進しています。③補助金を活用し、森林整備を実施しています。④県が措置命令に基づき、行政代執行の準備を進めています。⑤単独の市町で解決できない課題に向け、広域連携の必要があると考えます。⑥積極的な取組を行い、一定の成果を上げることができました。⑦平成26年度から交通量が増加し、生活道路へ流入する車両が多いのが現状です。⑧市民主体の協働によるまちづくり、「持続可能なまち」を創造することが基本的な考え方です。



動画はこちら

質問 Question

決算を踏まえた、来年度予算の重点項目は



み た た だ お
三田 忠男 議員

令和5年度決算の成果と課題について、市民に強調したい点を伺います。また、来年度予算における重点施策は何でしょうか。特に一番重点を置いて取り組みたい施策を具体的に伺います。

答 弁

新市建設事業を概ね予定どおり実行できました。課題は行政改革、とりわけ市有財産集約・整理が遅れ気味だと感じます。

来年度の重点施策は「災害死者ゼロを目指す防災」です。政策区分は防災ですが、実現には、あらゆる施策を全力展開しなければなりません。具体的に水道事業は最も難しい事業のひとつですが、市民理解が得られていないと実感しています。事業安定のためには、何としても財源確保が必要です。

また、7市6町首長会議の広域連携の枠組みにおいて、伊豆半島全体の防災計画を策定することとなっています。



動画はこちら
※他の質問あり

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ



パソコン

伊豆市議会 ライブ中継

検索 からご覧ください。



Andoroid
スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone
アイフォン

カメラアプリを起動して QRコードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

質問 Question

修善寺中学校閉校に際し4小学校の再編は



すずき ゆうじ
鈴木 優治 議員

8月11日修善寺中学校、夏まつり・閉校式が開催されました。最初で最後の夏まつりとのこと。修善寺中学校の閉校と相まって、想像に値するところではあります。南小学校を修善寺中学校に移設の絵が描かれているものと思います。この際、修善寺地区4小学校の再編に道筋をつける時と考えます。執行部の答弁を求めます。

答 弁

現時点では、「市長として修善寺東小と南小の統合を希望する」と述べている段階であり、機関決定しているものではありません。

将来的には修善寺中学校への移設を想定していますが、財源の制約があります。4小学校の将来像については、現在、教育委員会が保護者等の意向を調査している段階であると認識しています。行政として市民合意のない政策を進めることはできません。教育委員会の検討作業を見守りたいと考えています。



動画はこちら
※他の質問あり

質問 断水時における井戸水の利用について



動画はこちら
※他の質問あり

能登半島沖地震や台風などで断水の被害が報道されますが、私たちも油断できません。

昔ながらの井戸がある家もあるのではないかと思います。市内には井戸を保有している家がどれくらいあり、現在使用している家はどれくらいありますか。使用できる井戸の活用について、計画などはありますか。

答 弁

現在把握している市内の井戸は28カ所あり、個人所有が18件、企業所有が10件あり、そのうち生活用水として使用している井戸が23件あることを確認しています。使用できる井戸の活用について、計画はありませんが、今後災害時に協力いただける井戸として、近隣住民に「生活に必要な水」を提供していただけるように、関係部局の共通認識のもと制度設計に努めたいと考えています。



小川 多美子 議員

質問 財産の減額譲渡の市長の責任を問う

動画はこちら
※他の質問あり

旧天城湯ケ島支所の減額譲渡の違法性に関し、市長に対して住民訴訟がなされ審理が進められています。1億円を超える鑑定額を、減額した議案の違法性が認められた場合、討論や採決に賛成の意を表した議員に法的責任と損害賠償責任が及ぶことは認識していましたか。違法性の判断が下された場合、市長は職を辞する考えはありますか。

令和5年の議案第68号に関する住民訴訟について、契約事務規則に関する争点は、8月26日付けで原告から提出された準備書面で原告が主張しているものと思われま。減額の根拠は、昨年9月の本会議や総務経済委員会でも説明したとおりです。

「違法性が問われていると思われる議案を上程したことは、賛成等の意思表示をした議員に、民法や地方自治法に抵触する責任を負わせることになる可能性がある」とのことについては真意が不明ですが、議案第68号に違法性はありま。また、仮定の質問にはお答えできません。



杉山 武司 議員

質問 市保有のバス処分の経緯を問う



動画はこちら

市がバスを保有する場合、整備管理者の選任が必要（道路運送車両法第50条）であり、これに違反した場合は、罰金が課せられます。市は選任できない為、バスを処分したと報告がありました。このことについて伺います。①責任の所在と法的処分②整備管理者を選任できなかった理由③市民の利用に与える影響

答 弁

①所管課は、資産経営課であり、警察・検察の事情聴取を受け、不起訴処分となりました。②当時の担当者が車両整備管理者制度の認識がなかったのか、届出などを失念したのか不明ですが、選任・届出を行わず、事務引継ぎが継承され、今日に至ったものだと考えています。③事業担当課・各学校などで、民間のバスを借り上げることで対応しているため、直接的に市民の利用に関して不都合が生じることはないと考えています。



永岡 康司 議員

質問 持続可能な観光防災まちづくりの取り組み

動画はこちら
※他の質問あり

7月12日に観光防災まちづくりの拠点施設となる「テラスセオレンジトイ」が全国初の津波避難複合施設としてオープンしました。

基幹産業である観光推進は伊豆市にとって二丁目番地であり、取り組まなければいけません。観光防災まちづくりに向けた予算の確保も今後さらに必要になってきます。持続可能な観光防災まちづくりに向けた取り組みについて伺います。

海と共に生きる「観光防災まちづくり推進計画」では、観光客の避難など観光と防災の共生に向けた様々な対策や将来のまちの姿についての議論の加速など、今後の取り組みを記載しています。

持続可能な観光防災まちづくりに向け、引き続きこれらの取り組みを実践していくことや、高齢化・人口減少などの地域社会の変化に対応できる計画の更新を図り、観光関係者や市民、行政が連携し観光防災まちづくりが続いていくよう取り組んでいきたいと考えています。



小長谷 順二 議員

質問 災害に備えた地域防災力促進のために



動画はこちら
※他の質問あり

伊豆市は本年度重点事業「市民（いのち）を守るまちづくり」を推進するため、県が行う「ふじのくに防災士養成講座」受講者への補助金制度を設けました。防災についての知識や技能を持つ防災指導員や、民間の防災士資格を有する人など、活発な活動が期待されます。地域防災力促進のために、市はどのような連携を考えていきますか。

答 弁

「ふじのくに防災士養成講座」受講申し込みは9名で、資格取得後は自主的な防災啓発活動の実施などが補助要件となっています。防災指導員は、現在95名が防災対策の普及啓発活動などを行っています。日本防災士機構が認証した防災士は、市内に44名と聞いております。市としては、防災訓練や講座など、地域の防災リーダーとしての積極的な活動を期待しています。

避難所運営の際は、市の対策本部や関係機関との連絡・調整などの対応についても先頭に立っていただけたらと考えています。



黒須 淳美 議員

質問 伊豆市所管の河川管理について

動画はこちら

天城山系を源とする狩野川や土肥山川は流域の産業振興や農地を潤しています。反面多量の降水による水害をもたらす危険性もあります。河川、山間地の土石流対策はどのようにされていますか。定期的な堰堤の監視や河川両側の倒木対策、森林管理はなされていますか。水田水源涵養機能維持は計画されますか。

山間部の土石流対策は、土石流を堰堤でせき止め、土砂災害から市民の生命財産を守ることを目的とし、国直轄砂防堰堤135基、県整備砂防堰堤41基が設置されています。また、治山堰堤が約700基整備され、砂防及び治山事業を活用し対策を行っています。定期的監視は砂防・治山堰堤共にそれぞれの管理者が行い、施設の機能維持に努めています。河川両側に特化した倒木対策、森林管理は実施していません。水田水源涵養機能維持（田んぼダム）の具体的な計画は、現在ありませんが、現状、水田には一定の貯水能力があると考えます。



飯田 大 議員

報告書はこちら ▼

総務経済委員会 行政視察 (令和6年 7月23~24日)



【行政視察報告／総務経済委員長 波多野 靖明】

今回の行政視察で、木更津市のエトワ木更津、柏市の下水道管寿命マップ化、取手市の議会オンライン化の事例を学びました。木更津市は、廃校を再生し観光施設として成功した好例で、柏市では老朽化インフラの管理手法として、下水道管寿命のマップ化が効果を発揮しました。取手市では、コロナ禍を契機に迅速な議会オンライン化が進みました。これら先進事例は、伊豆市の行政運営に多くの示唆を与えて頂きました。自治体の規模や財政力の違いから、当市に適した持続可能性を検討し、地域特性に合った展開が求められると認識しました。

教育厚生委員会 行政視察 (令和6年 7月10~11日)



【行政視察報告／教育厚生委員長 三田 忠男】

伊豆市の課題であります、「英語教育」「新リサイクルセンター運営」「美術館建設」について先進地を視察してきました。埼玉県八潮市の英語教育は、市全体で「英語」の環境整備が行われていました。草加市のリサイクルセンターは、雑誌保管袋を各家庭に配布し、お菓子の箱・ラップ等の芯等を袋に入れ、資源として活用していました。高崎市のタワー美術館は、立地条件の良い駅前の複合施設にあり、伊豆市の美術品展示も行われた日本画専門の美術館です。建設目的によつては、市長部局が、所管するのもありかなと思いました。

質問 Question 伊豆中学校で実践される教育を問う



動画はこちら
※他の質問あり

答弁

これからの予測困難な時代を、たくましくしなやかに生き抜いていくための力を身につけていくことが大切であると考えます。知・徳・体のバランスのとれた、ふるさと伊豆に誇りを持ち、将来に夢を持てる生徒を育成したいと考えます。特にこれからの情報化社会に必要な情報活用能力と、グローバル化に対応した英語力の向上、さらには広域になる学区において、安全・安心を担保する危険回避能力も高めていきたいと思います。

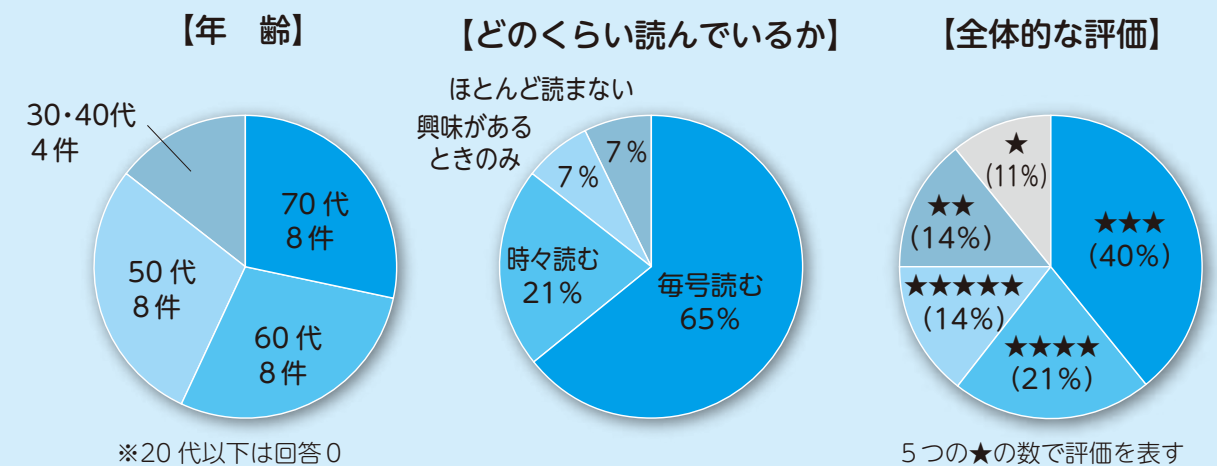
令和7年4月の開校に向けて「伊豆市立伊豆中学校」の建設が着々と進められています。その様子を目にして、新たな学び舎での中学校生活を心待ちにしている生徒や保護者は、少なくないと感じます。その伊豆中学校で展開される教育において、どのような教育の実践を目指し、生徒・保護者に提供しようとしていくのか、教育長に伺います。



鈴木 正人 議員

伊豆市議会だよりアンケート集計結果

アンケート実施期間：令和5年9月1日から令和6年8月31日
回答件数：LoGo フォーム 28 件



【主なご意見・ご感想の抜粋を紹介】

- ・わかりやすいレイアウト、内容で読みやすい
- ・QRコードが気になる所だけ聞く事が出来て良い
- ・議員と市長、担当課の質疑応答が分かりやすく、毎号隅々まで読んでいる
- ・一般質問は1つだけでも質問必須にしては
- ・発行頻度を増やし、少し字を大きくしてほしい
- ・紙の配布はやめた方が良いのでは
- ・議会活動による行政の変化を示すことを希望
- ・表紙がとても良かった

【広報委員会から】

アンケートに真摯に向き合ってお答えいただきました事、心より御礼申し上げます。28件の回答件数は評価の分かれるところではありますが、委員会としての受け止めは大変嬉しく思いました。皆様に議会だよりを見ていただき、少しでも議会に興味を示していただくことが広報委員としての役割と認識いたします。いただいたご意見・ご感想を糧にこれからも精進してまいります。ありがとうございました。



伊豆市 20 周年事業
中学生議会



ホームページに
会議録を掲載中
動画配信あり



伊豆市誕生から 20 年という節目の年を迎え、議会では「中学生議会」を開催しました。将来を担う市内中学校 3 年生及び義務教育学校 9 年生の生徒 11 名の皆様に、「伊豆市の将来に向けて」をテーマに、市への意見や提案を述べていただきました。



発表順序・氏名・質問事項			5	すずき はな	便利な伊豆市に
0	小藤田 爽真	より美しい伊豆市のために	6	佐野 安華里	安全で住みやすい伊豆市を
1	しもやま 咲耶	伊豆を「自転車の聖地」に	7	すずき 瑛太	お年寄りにも住みやすいまちへ
2	おおかわ 華穂	将来の伊豆市について	8	すずき ゆい	今後も残したい伊豆市のいいところ
3	わらしな 善	10 年後の伊豆市でどんなふう に過ごしたいか	9	さとう 優志	海岸の景観を守る
4	やまざき 結夏	10 年後の伊豆市でどんなふう に過ごしたいか	10	おおかわ しゅんや	伊豆市がこうなったら困ると 思うこと

議長から／伊豆市議会議長 青木靖

今回の「中学生議会」は、市内の 11 名の中学生から伊豆市についての意見を聞くことが出来た貴重な機会になったと思います。伊豆市をきれいなまちに・もっと暮らしやすいまちに・お互い協力してよいまちになどの提案は、克服すべき伊豆市の課題が含まれていました。中学生の皆さんが近い将来、伊豆市の課題を解決する人になるよう、広く世界に目を向けて学び、そして、みんなが愛する伊豆市で活躍してくれることを期待します。

議会広報委員会交流会（土肥支所・津波避難タワー）

7 月 25 日（木）伊豆総合高校写真部、土肥分校商業部写真班と広報委員会で交流会を開催しました。今回のテーマは「議員との交流」「写真の撮影会」で、第 80 号に掲載しているインタビューの中で、生徒さんからの提案が実現した形となりました。土肥支所で自己紹介やアイスブレイクを行い、議員と写真撮影のポイントなどの意見交換を行った後、「テラス オレンジ トイ」で撮影会を行いました。



広報委員会から
委員長 間野みどり

伊豆総合高校の生徒さんとの交流会は、楽しく暖かい交流会になりました。生徒さんの心を和らげようとアイスブレイクでゲームを行いました。テラスでの生徒さんたちは、元気で自由で明るくて仲良しで、私たちは見ているだけでパワーをもらいました。ご協力ありがとうございました。

生徒代表
伊豆総合高校写真部 杉山瑠菜

市議会の方たちとの交流会を通して、一番思い出になったことは、みなさんと土肥の海で楽しく笑い合えたことです。間野議員とは、足だけですぐ海へ入り砂浜を裸足で歩きました。残念ながら写真映えのしない曇りでしたが、議員さんたちとの距離が縮まった瞬間だと勘違いしてしまうほど楽しかったです。私は写真をこういった思い出のカケラだと思っています。なので、私の最後の部活動で貴重な経験ができたことをうれしく思いました。

議会モニター募集中!

任期：令和2年2月～

伊豆市議会モニター 検索

詳細はホームページに掲載



アンケートを実施中!

伊豆市議会だより 検索



Webから回答
できます

ここから1分程度の
簡単なアンケート



前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたので
ご紹介します。(※ 回答一部抜粋)



・いつも詳しく伝えているので良いと思う。伊豆市はPRが上手くないと思う。
表紙がとても良かった。議会の様子が分かり、ゲームしたり寝てたりする人はいなくて安心した。

(★★★★★ 60代 ふりお様)

・紙の配布はやめた方がよい。(★★★★☆ 60代 加藤大雅様)

・毎号読んでいます。(★★★★☆ 50代 Takataka様)

・ときどき読んでいます。(★★★★★ 50代 伊豆シミン様)



・質問がどのように、具体的に回答があると明確にしてほしい。議会活動による行政の変化を示す事を希望。(☆☆☆☆☆ 70代)

・市の抱えている問題、それに対する対応等を知ることができている。(☆☆☆☆☆ 50代)

・ときどき読んでいます。(☆☆☆☆☆ 70代)

・写真が良かった。(☆☆☆☆☆ 60代 万歩兵様)

広報委員会委員から

今後もいただいたご意見を大切に、傍聴に来られない方々にも分かりやすく、また見やすい紙面作りを心掛け編集していきます。多くのご意見ありがとうございました。

12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
11/25	26	27	28	29 本会議初日	30	12/1
2	3	4 本会議2日目 (一般質問)	5 本会議3日目 (一般質問)	6 本会議4日目 (一般質問)	7	8
9	10 本会議5日目 (議案質疑)	11 総務経済 委員会	12 教育厚生 委員会	13	14	15
16	17 議会運営委員会	18	19	20 本会議最終日	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1/1	2	3	4	5

9月

議会広報



8月27日のFMIS生放送で、波多野靖明議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は11月末に12月定例会のお知らせをします。

編集後記

伊豆市議会では、大きな変革が2点ありました。1点は議員削減16名を14名にしました。1点は報酬を増額しました。ご批判等もございましたがご理解ください。

今や世界の人口は80億人年々増加しております。日本は減少し2100年にはなんと、5000万人との予想もあり、伊豆市も大幅に減少します。持続可能なまちを維持するため議員一同積極的に発言しかつ実行してまいります。

議会広報委員 星谷 和馬

議会傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴ができ、生中継と録画配信も行っています。



▲アクセスはこちら

お問合せ先(議会事務局)

Tel.0558-72-9906



伊豆市議会だより

発行 伊豆市議会

編集 〒410-2413 静岡県伊豆市八立野38-2
伊豆市議会広報委員会 ☎0558-72-9906

次回は令和7年2月1日発行予定です。

議会ホームページ

